

2017年3月期第3四半期  
決算説明資料

2017年1月25日

 日立化成株式会社

# 16/3Q実績

Hitachi Chemical  
Working On Wonders

(億円)

項目	16/3Q 実績	前年 同期比	16/1Q ~3Q	前年 同期比
売上収益	1,436	103 %	4,009	97 %
営業利益	153	110 %	407	109 %
当期利益 (親会社帰属)	146	128 %	313	112 %
営業利益から その他の収益・費用 を除いた金額	162	111 %	408	105 %

為替レート	平均	15/3Q	¥121.50	→	16/3Q	¥109.30
(1US\$=)	期末	15/3Q	¥120.61	→	16/3Q	¥116.49

### 機能材料

726億円 (前年同期比 105%)

- 電子材料：  
半導体実装関連の需要増によりダイボンディング材料が拡大
- 無機材料：  
環境対応自動車向けに負極材が増加
- 樹脂材料：  
ディスプレイ用回路接続フィルムは、スマートフォン向けに増加も、  
為替の影響を受け減少
- 配線板材料：  
銅張積層板が前年同期と同水準、感光性フィルムが減少

### 先端部品・システム

711億円 (前年同期比 101%)

- 自動車部品:

為替の影響を受けたものの、新規案件の需要増に  
支えられ、前年同期と同水準

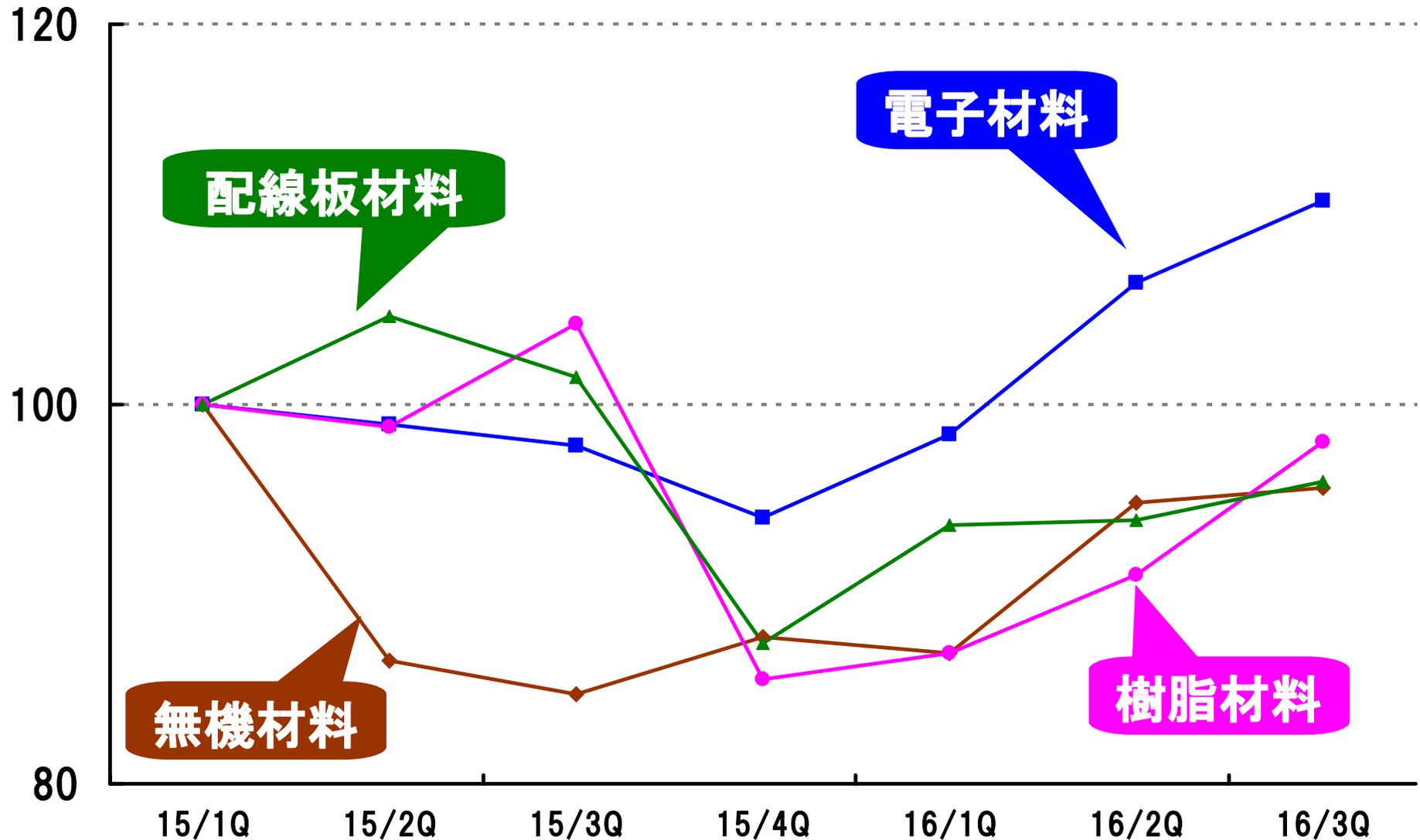
- 蓄電デバイス・システム:

無停電電源装置用電池が海外向けに増加も、国内新車  
向けの売上減、為替の影響を受け、前年同期と同水準

	売上収益	前年同期比
<b>機能材料</b>	<b>726 億円</b>	<b>105 %</b>
<b>電子材料</b>	<b>238</b>	<b>113</b>
封止材		102
ダイボンディング材料		132
CMPスラリー		114
<b>無機材料</b>	<b>60</b>	<b>113</b>
リチウムイオン電池用負極材		127
<b>樹脂材料</b>	<b>159</b>	<b>94</b>
ディスプレイ用回路接続フィルム		84
<b>配線板材料</b>	<b>180</b>	<b>95</b>
銅張積層板		100
感光性フィルム		87

# 16/3Q実績 機能材料 売上収益(2)

対15/1Q指数

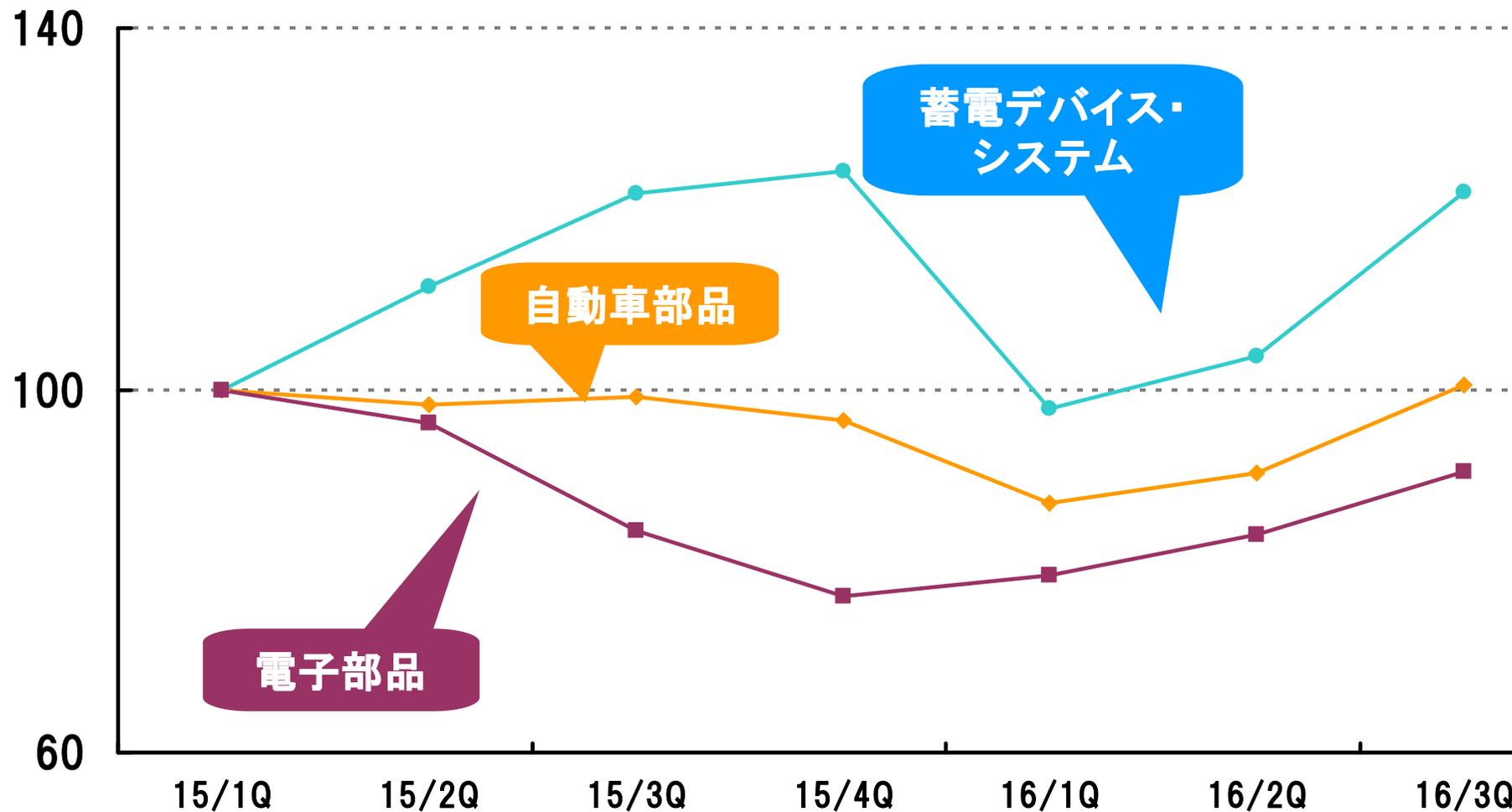


	売上収益	前年同期比
<b>先端部品・システム</b>	<b>711 億円</b>	<b>101 %</b>
自動車部品	329	101
樹脂成形品		105
摩擦材		96
粉末冶金製品		100
<b>蓄電デバイス・システム</b>	<b>282</b>	<b>100</b>
車両用電池		96
産業用電池		105
<b>電子部品</b>	<b>94</b>	<b>108</b>

# 16/3Q実績

## 先端部品・システム 売上収益(2)

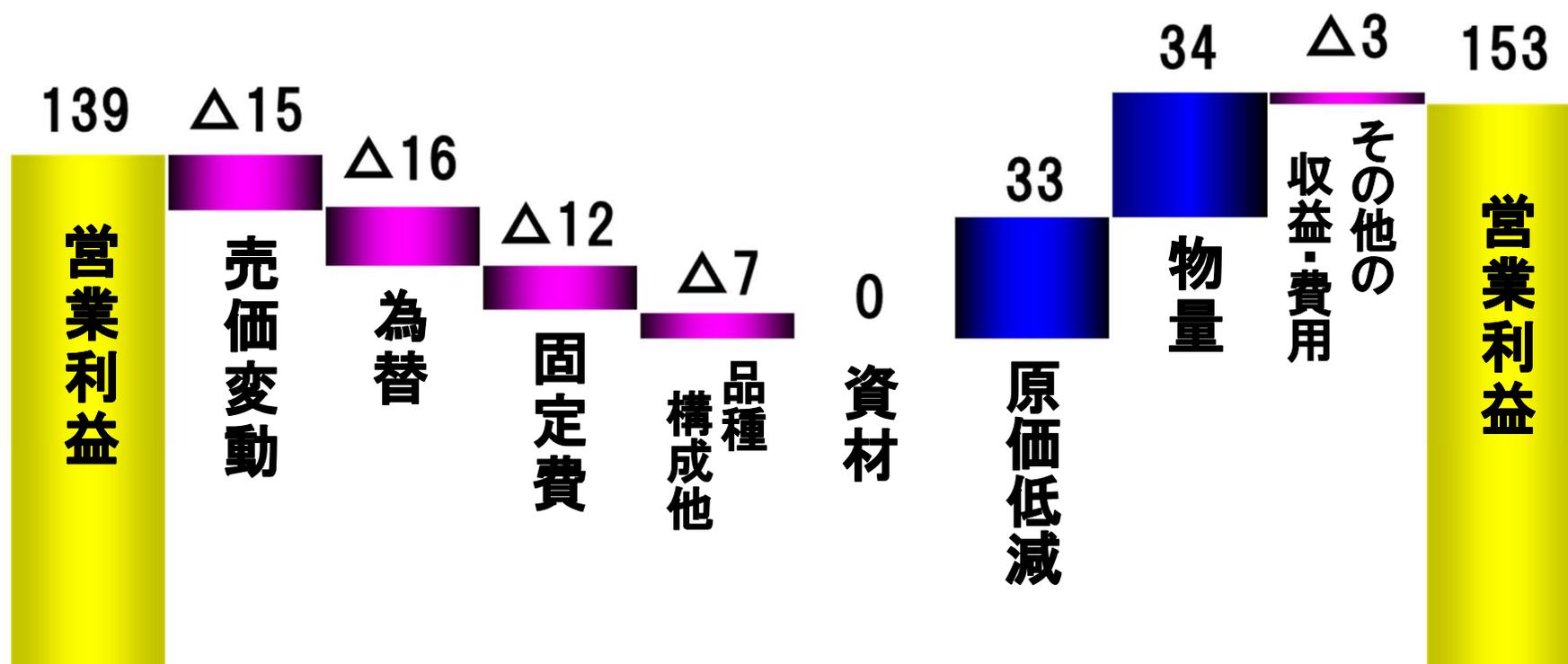
対15/1Q指数



# 営業利益の偏差説明(1)

## 15/3Q実績 対 16/3Q実績

(億円)



15/3Q

+14億円

16/3Q

# 営業利益の偏差説明(2)セグメント別

## 15/3Q実績 対 16/3Q実績

(億円)

	15/3Q	物量	売価 変動	為替	資材	原価 低減	固定費	品種構成 他	その他の 収益・費用	16/3Q
機能材料	113	23	△10	△11	4	19	△10	△7	△6	115
先端部品 システム	26	11	△5	△5	△4	14	△2	0	3	38
計	139	34	△15	△16	0	33	△12	△7	△3	153

# 16年度業績見通し

Hitachi Chemical  
Working On Wonders

(億円)

項目	15年度 実績	16年度見通し		前年度 比	10月 公表比
		10月公表	今回公表		
売上収益	5,465	5,200	<b>5,500</b>	101 %	106 %
営業利益	530	500	<b>530</b>	100 %	106 %
当期利益 (親会社帰属)	385	350	<b>395</b>	103 %	113 %
営業利益から その他の収益・費用 を除いた金額	499	510	<b>540</b>	108 %	106 %
為替レート (1US\$=)	平均	¥120.14	¥102.65	¥107.70	
	期末	¥112.68	¥100.00	¥110.00	

## 機能材料

2,700億円 (前年度比 100%)

半導体実装関連等の堅調な需要により、  
前年同水準を維持

## 先端部品・システム

2,800億円 (前年度比 101%)

産業用電池の増加や、FIAMM Energy Technology  
S.p.A. の連結子会社化の影響により、前年同水準  
を維持

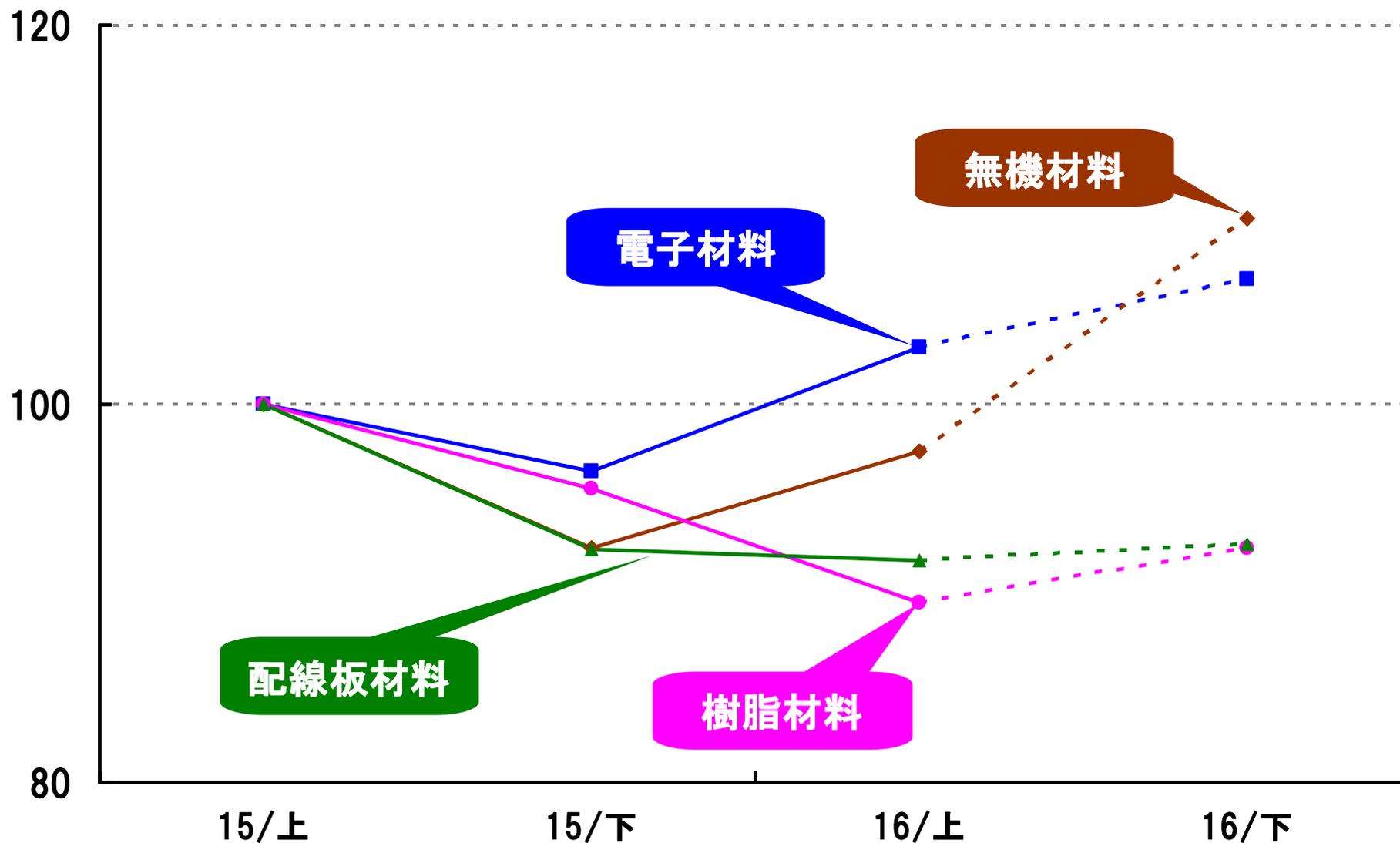
# 16年度見通し

## 機能材料 売上収益(1)

	売上収益	前年度比
<b>機能材料</b>	<b>2,700 億円</b>	<b>100 %</b>
電子材料	896	107
封止材		98
ダイボンディング材料		127
CMPスラリー		100
無機材料	243	108
リチウムイオン電池用負極材		118
樹脂材料	587	93
ディスプレイ用回路接続フィルム		87
配線板材料	708	99
銅張積層板		103
感光性フィルム		87

# 16年度見通し 機能材料 売上収益(2)

対15/上指数



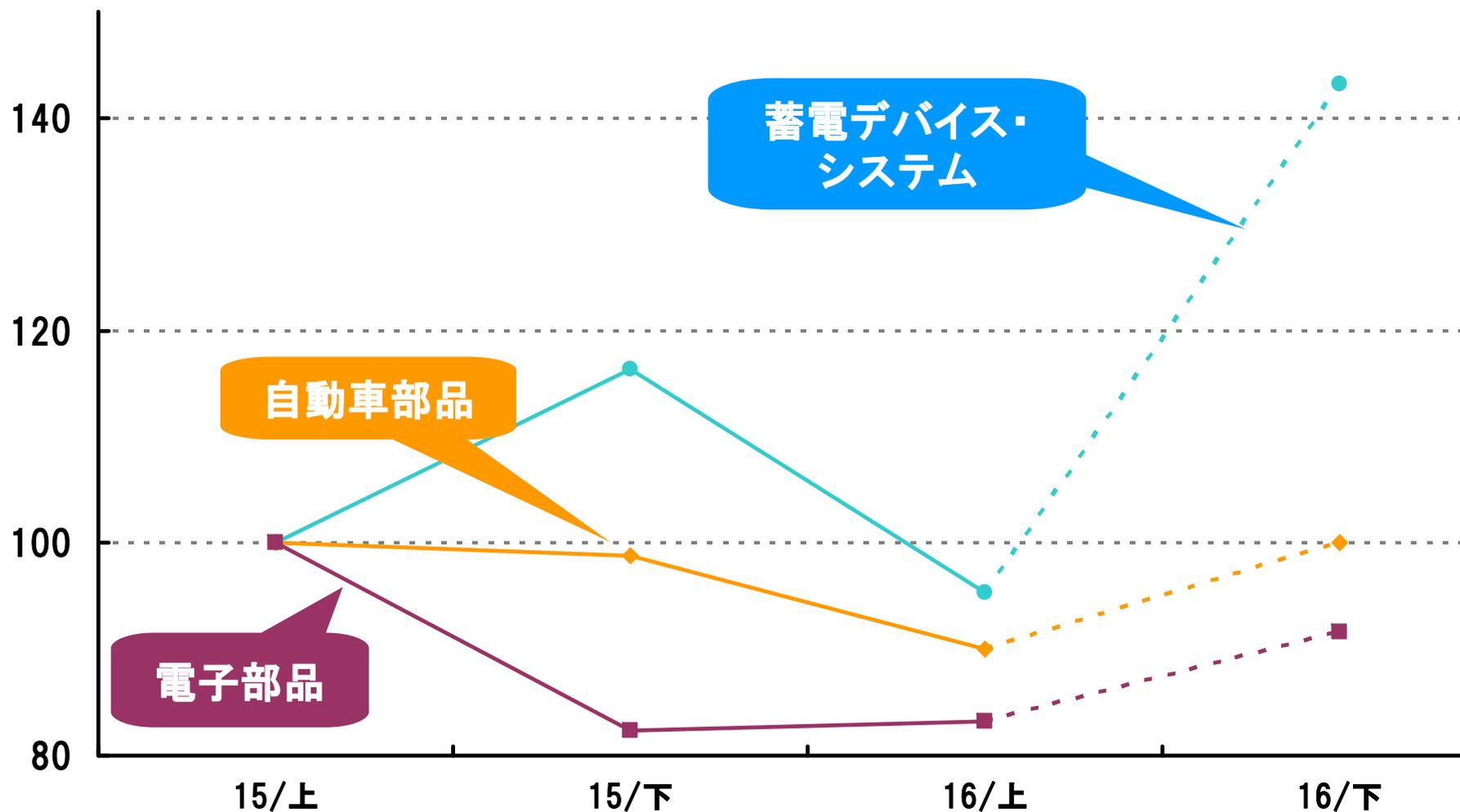
# 16年度見通し

## 先端部品・システム 売上収益(1)

	売上収益	前年度比
<b>先端部品・システム</b>	<b>2,800 億円</b>	<b>101 %</b>
自動車部品	1,232	96
樹脂成形品		95
摩擦材		92
粉末冶金製品		98
<b>蓄電デバイス・システム</b>	<b>1,167</b>	<b>110</b>
車両用電池		120
産業用電池		108
<b>電子部品</b>	<b>355</b>	<b>96</b>

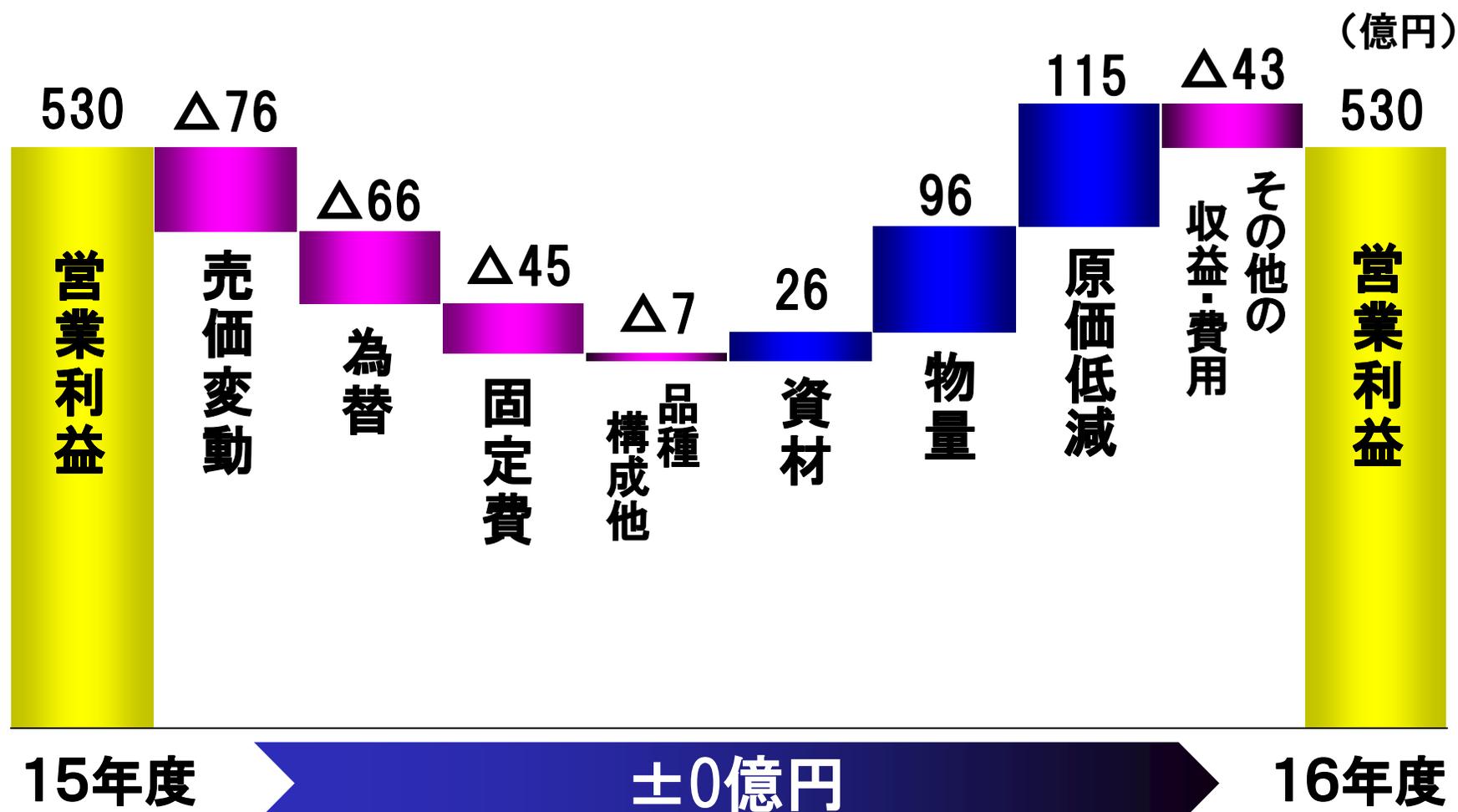
# 16年度見通し 先端部品・システム 売上収益(2)

対15/上指数



# 営業利益見通しの偏差説明(1)

## 15年度実績 対 16年度見通し



# 営業利益見通しの偏差説明(2)セグメント別

## 15年度実績 対 16年度見通し

(億円)

	15年度	物量	売価 変動	為替	資材	原価 低減	固定費	品種構成 他	その他の 収益・費用	16年度
機能材料	387	73	△43	△45	20	68	△23	△1	△11	425
先端部品 システム	143	23	△33	△21	6	47	△22	△6	△32	105
計	530	96	△76	△66	26	115	△45	△7	△43	530

# 主要材料購入単価推移

(15年度を100とした指数表示)

項目	15年度	16/1Q	16/2Q	16/3Q	16/4Q 見通し
原油(ドバイ)	100	95	95	106	121
鉛	100	93	88	96	100
エポキシ	100	100	100	100	100
PETフィルム	100	100	100	100	100
MMA	100	94	94	99	99
ガラスクロス	100	100	100	103	109
銅箔	100	89	92	106	117

- FIAMM Energy Technologyの株式取得契約締結
- 透明層間充填フィルム「ファインセット」事業を譲渡
- 量子ドットフィルムを2016年度中に量産・販売開始
- オープン・ラボの新川崎への移転・機能強化を決定
- 再生医療用細胞等の事業拠点を横浜に新設決定

## FIAMM Energy Technology S.p.A.

(百万€)

### ■ 事業内容

自動車用および産業用  
鉛蓄電池の製造、販売

### ■ 取得価額

約102億円

### ■ 株主

日立化成 51%  
FIAMM S.p.A. 49%

### ■ 株式取得

2017年2月中(予定)

項目	2015/12 月期
売上高	426
営業利益	19
経常利益	12
純利益	8
純資産	50
総資産	260

# *Hitachi Chemical*

## *Working On Wonders*

(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

本資料を無断で転載、二次利用することをお断りいたします。

 日立化成株式会社